



と謙遜する言葉が多いです。それが日本人としての礼儀なのかもしれないけれど、私はアメリカのように「Thank you」と言ったり言われたりするものが好きです。スーパーやショッピングモールに行つて買い物をするときに店員さんが最後に「Thank you」と言つてくれました。店員さんの言葉が聞き取れなくて時間を取ってしまったら、お金を出すのに時間がかかったりしても、極上スマイルで「Thank you」と言ってくれるので驚きました。日本の「ありがとう」や「ありがとうございます」はマンネリ化しているのかもしれない

せん。「Thank you」はアメリカのおもてなしだと思います。

中山中 3年

永見 竜也

僕の中で、最も印象に残っている見学先は、市役所と図書館です。まず市役所は、とても大きくて驚きました。ガラスのドアにカードキーで開けるロックがかかっている、とてもかっこよかったです。廊下に絵や写真、植物などが飾つてあり、日本の役所と違い落ち着いた気持ちになりました。役所内で働く人の人数が少ないので、一人一人の仕事スペースが広く、さらにほぼ個室になっており集中しやすい環境になっていました。主な道路の混雑状況が一目でわかるようになつており、複数のモニターがありかっこのよかったです。日本と違い市長を直接、選挙できないことにも驚きました。

図書館も「大山町立図書館」の4倍はあるのではないかと、思うくらい大きかったです。とても多い量の本が分類

ごとに分けられていて、どの本を読もうかなと迷う人が、たくさんいるだろうなと思ひました。そのような人たちのために、ピッタリの本を紹介するコンシエルジュまでいました。景色がよく本を集中して読める場所であり、ボランティアが勉強を教えるなど、学習に力を入れていることが分かりました。

中山中 2年

森安 優輝

ホストファミリーはプラスさんという家族で、4人の子どものお父さんとお母さんの大家族でした。

最初、僕は大勢の子どもたちと上手くやっていけるのか少し心配だったけれど、「一緒に遊んだりして楽しく過ごせるだろうな」などの期待の方が大きく、これからの生活をとても楽しみに感じました。

初日は、ホストファミリーのピーターがハンバーガーショップに連れて行つてくれ、チーズバーガーを食べました。そのチーズバーガーが

とてもおいしかったです。見た目は日本のマックなどと違いはなかったのですが、さすがハンバーガー発祥の地だなと思う味で驚きました。

その日の寝る前に、ホストファミリーに持つて行つた家族や学校の友達の写真を見せました。ホストファミリーも写真を見せてくれて話がはずみ、とても楽しい時間を過ごしました。

中山中 2年

前田 百恵

私がこの研修で一番学んだことは、新しいことに挑戦するということです。

まず、大山町のテメキュラ市中学生派遣交流事業に応募したことが、私の最初の挑戦でした。応募したきっかけは、6年前、姉がテメキュラからの学生を受け入れたことです。その時の私は、まだ小学2年生で、英語は「はろー。まいねいむいず、ももえまえた」としか言えませんでした。何しろ人生初の外国人です。一緒に遊びたいのに、どうやって誘えば良いのか分か

らないもどかしい気持ちを、今でも覚えています。だから、英語がある程度話せるようになったとき、応募しようと思ひていました。

出発前、姉は私に「いい？何でもやってみるといいよ。絶対楽しいけん」と言ひました。そうしないと後悔するからと念入りに言つていました。その言葉を私は時々思い出しながら、研修に臨みました。研修を通して、姉の言つていたことがうそではないことを痛感しました。そして、姉の言葉は様々な場面で役に立つたので感謝しています。前田家の家訓「チャレンジあるのみ」です。

